



東陽の旋風^{かぜ} ～自律協働貢献～

令和6年5月2日（木）No.5 発行
文責：松本 卓也

R6 東陽中の子どもたちに、「こんな力」を！！



「なぜ学ぶのか」という本質的な問いは、どのような時代であろうと、いかなる地域であろうと、いつも子供たちが求めている問いです。高度経済成長期においては、高校や大学入試に向けた「勉強」が、その問いの答えとして説得力をもったかもしれませんが、しかし、社会が急速なスピードで変革しようとしている今、学校で学ぶことと社会とのつながりを意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことが子どもたちの豊かで幸せな人生につながると考えます。

東陽中の子どもたちに身につけてほしい力を生徒会執行部の皆さんと思い描き、「令和6年度 重点的に育てていきたい資質・能力」を設定しました。職員一人一人が、この資質・能力を意識して、日々の授業や教育活動に取り組んでまいります。

さらに、ご家庭や地域、行政とも共有することで、ふるさとのおかげだけでなく地域の課題も解決していこうとする意欲をもった人材を育てていきたいと考えています。熊本（東陽）の未来の創り手となる子どもたちを育てるために、保護者の皆さまのご支援をよろしくお願いたします。

【令和6年度 東陽中の子どもたちにつけたい力】



校訓 自主・剛健・奉仕

学校教育目標

ふるさと東陽を愛し 自ら学び 心豊かにたくましく生き
夢実現に向け未来を切り拓く 東陽っ子の育成

令和6年度スローガン 「自律・協働・貢献」

【重点的に育成を目指す資質・能力】

自律：自分で考え、判断し、決定し、行動すること
協働：目標に向かって共に活動していくこと
貢献：自分だけでなく、自分のいる集団のために役に立とうとすること

【目指す姿】

自ら考動する生徒
自分たちで学校を創っていく生徒集団

生徒会執行部の皆さんも考えてくれました！



【生徒会テーマ】「築け～新たな東陽中の歴史を～」

更なる高みを目指して 今日自分が輝けるように 新たにできるようになったと思えるように

持続可能なPTA活動を目指して

4月26日（金）、PTA連絡会を行いました。本日開催しました第1回PTA総会に向けて、令和6年度の「事業計画案」や「予算案」を協議しました。また、しょうが祭におけるしょうがの出品・負担金の在り方や今後のPTA活動の在り方についても、活発な意見が交わされました。持続可能なPTA活動を目指して・・・今後、1年間をかけて、本校PTA活動のよりよい在り方を考えていければと思います。



負けから学ぶことが大切

4月27日（土）と28日（日）、第24回城南中学生バドミントン大会が開催されました。団体の部では、男女とも1回戦で敗退しましたが、フルセットにもつれ込む接戦が多く、子どもたちも悔しい思いをしたようです。男子シングルの元世界王者、桃田賢斗選手は、「負けから学ぶことが大切。負けて悔しいと思う気持ちは絶対に大切。」と述べています。負けた原因をこれからの練習で克服し、中体連で躍動している姿を期待します。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）